

編集後記

今年の角膜カンファランスは、雪の積もった高野山で開催されました。俗社会から隔絶された標高800メートル超の地で経験した学術集会は、そこかしこに弘法大師の姿が見えるようで、深い味わいがありました。

さて、今月の特集は黄斑上膜です。複数の疫学調査でも明らかにされているようですが、黄斑上膜の患者さんに遭遇する機会は確実に増えました。患者自身に自覚症状はなくても検診で指摘されることもありますし、他の理由で眼科を受診した際に、望むと望まざるとにかかわらず光干渉断層計で偶然、発見されることも少なくありません。かつては名人芸とされていた硝子体手術による治療が、恐らくは術者の腕の向上によるものではなく、周辺機器の著しい進歩によって安全

に行われるようになって久しいですが、それ故に以前にも増して発症早期の段階で治療され、視機能の改善と維持が期待できるようになってきたことは喜ばしい限りです。また、データをみる限り、早期手術のほうがあらゆる面で術後の改善度も高いようです。ただし、視機能が比較的良好に保たれている症例こそ、手術に伴う有害事象などあってはなりませんし、透明水晶体に対する外科的介入の是非や併発する緑内障に対する影響など、その治療適応については以前にも増して慎重であるべき疾患と考えられます。白内障に対する手術と同様、黄斑上膜は術者のフィロソフィや倫理観が大いに試される疾患のひとつ、と言っては言い過ぎでしょうか。

(後藤 浩・記)

編集：後藤 浩・飯田知弘・雑賀司珠也・門之園一明・石川 均・根岸一乃・福地健郎
編集顧問：小口芳久・臼井正彦・澤 充・谷原秀信・岸 章治・飯島裕幸・坪田一男・富田剛司

「眼 科」 第67巻 第3号 3月号

2025年3月5日発行（毎月1回5日発行）

定価 3,300 円（本体 3,000 円＋税 10%）

年間講読料金

定価 48,950 円（本体 44,500 円＋税 10%）

〔年間 13 冊（臨時増刊号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金 原 出 版 株 式 会 社

発行者 福 村 直 樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

Tel 03 (3811) 7165 [編集室直通]

Tel 03 (3811) 7184 [営業部直通]

FAX 03 (3813) 0288

www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 横山印刷株式会社 Tel 03 (3622) 6161

広告申込先 (株)文京メディカル 03 (3817) 8036

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

- ・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088, FAX：03-5244-5089, e-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。